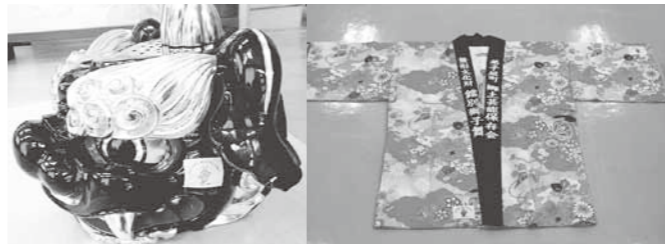




鎧別獅子舞保存会の活動を評価

平成24年度釧路管内教育実践表彰



新調された獅子頭(左)とはんてん(右)

どにおいて優れた実践活動に取り組む、管内の教育の向上に大きく貢献している団体・個人を表彰しているもの。同保存会は、1967(昭和42)年の設立以来、獅子舞を通じた地域活性化に取り組んできました。郷土芸能学習として取り入れている奥春別小学校児童への伝承活動や、弟子屈神社例大祭での奉納、高齢者施設の慰問などを継続。地域の絆づくりや文化財の保存伝承に大きく貢献しているとして、今回の表彰となりました。

また同保存会では、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、獅子頭・衣装などの整備を行いました。同事業は、全国自治宝くじの普及広報と、住民のコミュニティ活動の促進・発展を目的にしたもの。これにより、同会の活動の一層の発展が期待されます。



弟子屈神社例大祭で披露された鎧別獅子舞(上) 表彰状を受け取る鎧別獅子舞保存会の皆さん(下)

平成24年度釧路管内教育実践表彰に、町無形文化財鎧別獅子舞保存会(中澤高行会長)が選ばれました。

表彰式は3月25日、役場で行われ、加門清釧路教育局長から保存会の皆さんに表彰状が手渡されました。

同表彰は、学校教育や社会教育な

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

3月28日

楽しい運動で介護予防 ガンバルーン交流会で心地よい汗



町主催のガンバルーン交流会が3月28日、屈斜路研修センターで行われました。

奥春別・美留和・川湯・川湯駅前・屈斜路各地区の転倒予防教室(介護予防のための教室)参加者の交流を目的に開催されたもので、57人が参加。北海道コーチズの皆さんを講師に迎え、ガンバルーンを使った体操とゲームを楽しみました。

ガンバルーンとは、介護予防運動の用具として考案された軟らかいゴムボールのこと。気軽に継続して運動に取り組めるのが特徴です。参加者の皆さんはガンバルーンで汗をかいたほか、食事もともにして交流を深めました。

4月10日

道行くドライバーに交通安全を呼び掛ける 旗の波による街頭啓発



交通安全を呼び掛ける参加者

町交通安全運動推進協議会と町交通安全協会の共催による旗の波街頭啓発活動が、春の全国交通安全運動期間中の4月10日、摩周観光文化センター前の国道391号で行われました。

同運動期間中に毎年行われていて、今年も「交通死亡事故ゼロを目指す日」の4月10日に実施。開会式で同協議会長の徳永町長は「観光シーズンを迎えるので、優しい運転を心掛けてほしい」とあいさつ。その後、参加した関係者約80人は安全旗を手に、行き交うドライバーにパンフレットなどの啓発グッズを手渡し、交通安全を呼び掛けました。

4月13日

弟子屈町の農業について理解を深める 4Hクラブと北教大釧路校の学生が交流



ビニールハウスでの苗の管理を見学

北海道教育大学釧路校の学生が4月13日、本町を訪れ、農作業の現場を見学しました。

昨年から行っている、弟子屈町4Hクラブ(吉田雄貴会長)と同校との交流の一環。学生に本町の農業について理解を深めてもらい、地域教材開発に役立ててもらおうと行われたものです。学生は4Hクラブ会員の農場や牧場へ赴き、摩周メロンやビートの苗の栽培管理、肉牛の飼養管理、ジャガイモの選別作業などを見学したほか、摩周そば乾燥工場や農作業機械も見学。吉田会長は「本町の農業を知ってもらえるよう、今後も交流を続けたい」と話していました。

4月16日

火災予防士気の高揚を 林野火災予防対策協議会で意識を新たに



林野火災予防のための対策を確認

平成25年町林野火災予防対策協議会(会長・徳永町長)が4月16日、林業多目的センターで行われました。

同協議会は、町や道、根釧西部森林管理署、警察、消防本部などを中心に、関係企業や団体などで構成。林野火災危険期間(4~6月)のこの時期に全体会議を行い、予消防対策の周知や徹底を行っています。協議会では、平成24年の林野火災発生状況などについて報告が行われたほか、今年の林野火災予防対策実施計画について提案。参加者は、林野火災防止について意識を新たにしていました。

4月21日

「火の用心」を心掛けてください 消防関係団体が防火パレード



かわいい声で火の用心を呼び掛ける園児たち

町内消防関係団体による防火徒歩パレードが4月21日、JR摩周駅前から役場までの区間で行われました。

4月20日~30日の「全道春の火災予防運動」の一環として行われたものです。弟子屈消防署や弟子屈消防団、防火管理協議会、消防後援会、女性防火クラブ、摩周丘幼稚園幼年消防クラブの皆さん約200人が参加し、沿道の皆さんに「火の用心」を呼び掛けました。



町の話題

町の話題

誰もが安心して 旅を楽しめる町に

UDプラザがUDマップ作製へ



例会でマップ作製の手順について話し合う部員の皆さん

てしかがえこまち推進協議会ユニバーサルデザイン部会(UDプラザ・三木亨部長・部員15人)の皆さんが現在「てしかがUDマップ(仮称)」の作製に取り組んでいます。

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、障がいの有無などに関係なく、できるだけ多くの人が利用できるように工夫されたデザインのこと。段差のない床や車椅子でも利用できるトイレなどもユニバーサルデザインの1つです。同部会では以前、車椅子の方でも弟子屈での観光や食事などを楽しめる施設を紹介した「車椅子マップ」を作製しましたが、今回、最新の情報を加え、高齢の方や障がいのある方など、誰もが安心して弟子屈での旅を楽しめるように工夫した情報地図「てしかがUDマップ」を作製することにしました。月一度の例会で、作製に向けての話し合いが進められています。

作製にあたり、町内の宿泊施設や飲食店、土産物店など200事業所に、アンケート調査を行うことになりました。5月の連休明けから部員の皆さんが手分けしてアンケートのお願いに伺うそうですので、皆さんのご協力をお願いします。